

信し、総意を諮っていただくこと。それが、44年前に先人先達が全国大会を開催し、未来に発信したものと筋論的には同じではないかと感じております。

**中川大会会長** 44年前、我々の親世代が青年部の活動に大きな可能性を見出し、作ってくれたつながる場所が全国大会です。先輩が思い描いた未来の上に我々がいると考えれば、我々も同様に孫の世代へ活動をつなげていくこと、理想を掲げて活動を続けていくことが大事。それを改めて気付かせてくれる45回目。一巡したタイミングというのは運命的だと感じています。先人先達への感謝と未来に対する責任、この二つが非常に重要になってくるという思いで、今回のGUNMAいせさき大会を迎えたいと思っています。

## 2. 全国の仲間と向き合うGUNMAいせさき大会。日本YEG会長として、小野会長が中川大会会長や群馬県連にどう向き合い、どんなメッセージを話したいですか？

**小野会長** 仕事も商いもYEG活動も、人にはすべからず役割があります。それぞれの役割はみんな違って当然であり、違うべきでしょう。ただ私は、自分の人生の役割を少しでも早く気付かせてもらえるなら倅せだと念うのです。人生における目的が明確になりますから。

私はYEGに入るまでは、仕事でしか役割に気付けないと定義していました。しかし、他の経済団体も同様に、完全に利害なく他者のために動くとか、経済を通して地域のために活動す

るYEGという組織の中で、中川大会会長はトップに立って誰よりも活動されています。全国大会は、他のコンベンションとは規模も大変さも全く違うものであり、それに向き合っている群馬県連の皆さんは、各人の人生の役割に他の方々よりも早く気付ける機会を提供されているのではないかと感じます。

大会の中で起こるさまざまな出来事の意味に気付けるか気付けないかは、各人の“心の在り方”次第だと念うし、この全国大会を通して成長されて、何かしらの役割に気付くきっかけになればと念います。全てが必然、必要、ベストなタイミングで群馬に対して起こっているんだということを、まずはメンバーの皆さんに気付いていただければ、間違いなくその道への一歩が踏み出されるだろうと感じています。私は日本YEGの会長として、それを群馬県内の皆さんにお伝えし続けています。コミットいただける方もいれば、何をしたらいいのか、これがどういう役割を持っているのかと葛藤される方も当然いらっしゃると思います。しかし、冒頭でもお話ししたように、このGUNMAいせさき大会の大きな目的は、今までの延長線上に未来はない、という表現で発信したい。1回目の群馬に一巡して戻ってきた節目の大会で、皆さんとともに作らせていただければと念います。自分たちの子や孫の世代が50年後、100年後に経営者になり、YEGに入られて、もし全国の大会に関わることがあったときに、それに気付いている親世代が子世代へと念いを恩送りしていれば、間違いなくこの45回目のGUNMAいせさき大会を振り返るんですよ。私だったら絶対に振り返ります。

そのときに、さらにいろいろなものを次の世代が築いていくでしょう。そして、日本人として、人として大切なことだと気付いてくれる若人や未来に対して、共に責任を持たせていただきたいと念っています。



令和7年度  
日本商工会議所青年部

会 長 **小野 知一郎**  
o n o t o m o i c h i r o

1980年生まれ、愛媛県新居浜市出身  
やまとグループ株式会社 代表取締役社長  
石川県商工会議所青年部連合会 小松YEG所属



日本商工会議所青年部  
第45回全国大会つる舞う形のGUNMA いせさき大会

大 会 会 長 **中 川 誠**  
n a k a g a w a m a k o t o

1980年生まれ、群馬県伊勢崎市出身  
中一陸運株式会社 専務取締役  
中一運輸倉庫株式会社 代表取締役  
群馬県商工会議所青年部連合会 伊勢崎YEG所属